●表紙写真/「誰でも気軽に。スポーツ吹矢」 原村スポーツ推進委員会では、毎月1回、社会体育 館で「スポーツ吹矢教室」を開催しています。第1回の この日は、子どもから高齢者まで約50名が参加し、ス

を楽しんでいました。

人の動き

·人口

·転入

·転出

・出生

・死亡

·男 ·女

教室では、呼吸法など基本動作の指導を受けた参 加者が、「力が要らず、本当に誰でも楽しめる。」と吹矢

次回の教室については、11ページをご覧ください。

7,850人

3,899人

3,951人

·世帯数 3,001世帯

52

5 5

105

更に前進

-平成25年度施政方針

前年度より42%増の積極型予算と言って て、平成25年度で予定していた中学校大規 国の平成24年度第3次補正予算を受け 般会計の総額は37億3千5百万円ですが、 支障を来たさない様に編成致しました。一 は景気の冷え込みから税収が落ちていま 模改修2期分と農道、水路の整備費合計 入れを過去最大として補って、事務事業に すが、需要は多々ですので、基金からの繰 度の村事務事業がスタートしました。予算 したので、実質38億4千5百万円となり、 −億1千万円を平成24年度に前倒ししま 3月議会での予算審議を経て、平成25年

> ども、障がい者、一人親家庭、 半額、第3子以降の無料化も続けます。ま までと変わりなく行なう他、子育て支援と けて行きます。 た幼稚園の運営補助金や就園補助金も続 して保育料の平均16%割引きや第2子の 金は65歳以上老人の他、 高校卒業までの子 す。本村福祉の柱である医療費特別給付 る他エコビレッジ構築にも意を注いでいま 引き続き福祉と子育て支援に力を入れ 世帯主と今

発電への補助の他、クリーンな環境を同時 に保つ意味でEV 入れなければならない事業ですが、太陽光 ましては、 の高まっている自然エネルギー利用につき 福島第一原発の事故以来、とみに注目度 エコビレッジの観点からも力を (電気自動車) やPHV

もよい訳です

生活していく上で、非常に大切な命題で 来の子孫の為に何を残せるかは私たちが 替し、再生可能なものを使って行かなけれ 場でもEV1台導入の他、誰でも利用でき 薪ストーブ普及促進も行っていきます。役 資源を大切に使い、代替のできるものは代 る充電スタンドを設置しました。限りある (プラグインハイブリッド車) 購入補助や 人類の社会は持続しなくなります。将

応援して行きますし、村の基幹産業として の為デジタル簡易無線機を各区に配備 すので、予算を盛りました。防災への備え の農業に就農する若者への応援も大切で 起業チャレンジは村の魅力創出として AED体外除細動機と共にいざという。

地域防災計画も見直して行くこととしま 時の役に供してもらうよすがとしました。 した。小中学校改修には平成24年度前倒 し分を含めて、 1億2千万円程を盛りまし

ジェクト支援交付金事業を活用しての販 立ち上げる予定です。 すので、営業存否を含めてその処遇を検討 肢の一つです。 樅の木荘も築40年を過ぎ、 生じていますので、それに宛てるのも選択 実施設計を行うことになります。保健セン 営の遠くを見る目として、それが必要であ うデイサービスが2階では種々不都合も 行くか検討することとなります。社協の行 こととなりますので、その跡地をどうして ターと老人憩いの家は老朽化から取壊す ドライ化を高度化するものとして、本年度 の必要があります。保育所給食棟建設は われる必要があります。特に箱物建設はそ フト事業とハード事業がバランス良く行な ることも申し上げました。魅力ある村はソ が多くなることを申し上げました。村政運 しなければならず、本年度検討委員会を 私は4期目就任の時、今後はハード事業 耐震不適、世需不適となっていま 農山漁村活性化プロ

> を熟思することとしています。 加工所は現在村民意見を募って可否行方 エコハウスとして計画」ハウス)と農産物 売力強化施設(サステナブル [持続可能な

ません。健康は自分でも注意して作って行 康づくりには検診(健診)以外に食生活や なって一番辛いのは自分自身です。勿論健 げ、健康で過せる様努めましょう。 かなくてはなりません。もっと受診率を上 励んでいますが、受診率はなかなか上がり 診や予防接種も無料にして、健康づくりに 村では住民が健康で過せる様にと、各種検 でもなく医療費が掛かりすぎるからです。 は良くないとされる訳です。原因は言うま ら、これを国保被保険者の為にだけ使うの 外の村民も加わった全体の物でありますか 凌いでいます。一般会計は国保被保険者以 定外繰入れを数千万円一般会計から行って けませんが、村は慎むべきとされている法 金(基金)が底を突いてしまったことがい から抜けきれていません。国保会計の積立 上げさせて戴いていますが、単年度で赤字 保は昨年度、今年度と2年続きで税率を 為の国保ですがこの所危機的状況です。国 さて住民の幸福は健康が第一です。その

> く行って健康を維持して欲しいことを願い 運動もありますので、 それらをバランス良

す必要があります。 と自治体存続の危機です。充分論議を尽 める構えです。ますます広がる財政較差 制ですが与野党とも地方分権の進展上進 87とすることになっています。残るは道州 で措置し、3ヶ年の激変緩和を経て百分の 公務員の78%削減後と比較しても、ラスパ は、職員の給与の問題があり、本村は国家 行く所存です。一方行政体としての運営で 遍なく行い、住民の福利厚生の為に尽して ん。退職金については県市村総合事務組合 イレス指数は100以下で問題ありませ 村政課題は予算措置をしました通り満

今年度も誠心誠意努めて参りますの よろしくご指導ご鞭撻下さい。

原村長



人も地域も輝く

清水

平成25年3月末現在。 ()内は前月比。

(-53)

(-20)

(-33)

に向けて

人も地域も輝く緑豊かな原村」

予算編成にあたっ

0万円(1%)の増としました。前年度当初予算額に比べ450算総額は、37億3500万円で、平成25年度の一般会計当初予 待感が高まっています。原村にお政権与党が変わり景気浮揚に期済は不安定な状況です。しかし世界経済の悪化により政治・経 得ない状況は変わりませんが、第税などの依存財源に頼らざるをいては、平成25年度も地方交付 より きるよう予算編成を実施しましを推進し、魅力ある村づくりがで 村」を実現するため各重点施策|人も地域も輝く緑豊かな原 「人も地域も輝く緑豊かな原4次原村総合計画の理念である る向きがあるものの、領土問題や

日本経済は震災復興需要等に

と共生した活力ある村づあわせを誇れる村づくり」どの新規事業を行い「健実対する起業チャレンジ補品 対する起業チャレンジ補助金なく電気自動車購入補助や起業に た活力ある村づ 業を行い「健康と



か、「エコヴィレッジ構想」に基づ等の事業は引き続き実施するほた。医療・福祉施策、子育て支援取り崩して財源を確保しまし

■■ △計川叉笛笳 ■■

T T	■■ 会計別予昇額 ■■				
	会 計 名		25年度予算額	2 4年度予算額	対前年比
— 舟	一般会計		37億3500万円	36億9000万円	1.2%
特	国民健康保险	険事業会計	10億2300万円	9億5900万円	6.7%
別	国保直営診療施設会計		8720万円	1億200万円	-14.5%
	有線放送事業会計		3320万円	3750万円	-11.5%
会	農業者労働災害共済会計		110万円	110万円	0.0%
計	後期高齢者医療会計		6790万円	6900万円	-1.6%
	1 >¥ A =1	収益的収入	1億5768万円	1億5893万円	-0.8%
\wedge		収益的支出	1億5131万円	1億4520万円	4.2%
企	水道会計	資本的収入	2400万円	2400万円	0.0%
業	業	資本的支出	6139万円	7728万円	-20.6%
숲	=1	収益的収入	3億5425万円	3億6486万円	-2.9%
計		収益的支出	2億5726万円	2億5851万円	-0.5%
-1	下水道会計	資本的収入	771万円	340万円	126.8%
		咨卡的士山	2/至2100下Ⅲ	2倍1002下□	6 2 0/-

歳入は、村税と地方交付税が

平成25年度一般会計は

37億3,500万円

借金である村債は抑制し基合減少し財源不足となります

村民税(法人)

3100万円

7億5458万円

諸収入 2億2309万円

村の預金の利子や貸付金

繰越金 1億3000万円 前年度から今年度に

付税が前年度比4

0万

度比954万円(4.6%)の改善交付金の増額により

増と

歳入の構成比では、地方交歳入の状況

一般会計

の元利収入など

持ち越されたお金

基金などを取り崩し、

歳入に充てるもの

入、国庫支出金、県支出金、村の20・2%、以下繰入金、諸収年度比4934万円(6.%)減)

と最も大きく、続いて村税(前 (2.%)減少しましたが38.6%

なりました。

債の順となります。対前年度の

場支出金は、東日本大震災 県支出金は、東日本大震災 農業生産対策交付金、森林整 農業生産対策交付金、森林整 農業生産対策交付金、森林整

伸び率では、繰入金が

3%(1億6356万円)増加

し最も大きく、村債が

17. 9 %

%)の減となりました。

0万円)減少

繰入金 3億2196万円

村民税、固定資産税など

村に納める税金

会 計 名			25年度予算額	2 4 年度予算額	対前年比
—- 舟	一般会計		37億3500万円	36億9000万円	1.2%
特	国民健康保険事業会計		10億2300万円	9億5900万円	6.7%
, ,	国保直営診療施設会計		8720万円	1億200万円	-14.5%
別	有線放送事業会計		3320万円	3750万円	-11.5%
会	農業者労働災害共済会計		110万円	110万円	0.0%
計	後期高齢者医療会計		6790万円	6900万円	-1.6%
	企 水道会計	収益的収入	1億5768万円	1億5893万円	-0.8%
\wedge		収益的支出	1億5131万円	1億4520万円	4.2%
_		資本的収入	2400万円	2400万円	0.0%
業		資本的支出	6139万円	7728万円	-20.6%
숲		収益的収入	3億5425万円	3億6486万円	-2.9%
計		収益的支出	2億5726万円	2億5851万円	-0.5%
	下水道会計	資本的収入	771万円	340万円	126.8%
		資本的支出	2億3180万円	2億1803万円	6.3%

入湯税 般会計の 歳入 60万円 (0.1%) たばこ税 2300万円 (3.1%) その他の依存財源 8550万円 村民税(個人) ·地方消費税交付金 ·自動車取得税交付金 6000万円 1900万円 3億198万円 軽自動車税 ·利子割交付金 200万円 2300万円 (3.1%) ·地方特例交付金 200万円 村税の内訳 ·交通安全交付金 150万円 70万円 7億5458万円 ·配当割交付金 ·株式等譲渡所得割交付金 30万円 固定資産税 地方譲与税 8700万円 3億7500万円 自動車重量税など本来

20.2%

6.0%

3.5%

8.6%

くなっています。

県支出金 1億8528万円 村の特定の仕事に対して

県から交付されるお金

地方税に属される税金を

村に譲与されたお金

国が徴収し、

資金(借金)

村債 1億8010万円 村が外部から調達した

国庫支出金 2億1909万円

村の特定の仕事に対して 国から交付されるお金

地方交付税 14億4000万円

行政サービスの一定水準の確保

のため、所得税などの国税の 一部が国より交付されるお金

その他の自主財源 1億840万円 ・分担金及び負担金 5554万円

38.6%

4.8%

5.9%

・使用料及び手数料 2503万円 ·財産収入 2773万円 10万円

個人所得の減少、景気の低迷によ

集全全土 繰入金は、財源不 基金2億4100万円のほか、 基金2億4100万円のほか、 上を補うため減債 とを補うため減債

2.2%

歳 入

37億3500万円

15億3803万円

依存財源(58.8%)

21億9697万円

りました。 や土地の価格下落により も3700万円の減とな239万円の減、固定資 り個人所得のは、景気の作品

固定資

地大は、国の地方財政 2.2%の減となっており、本村の 普通交付税は4000万円の がを見込みました。また、地方 で地方交付税は は、国の地方財政 ね前年並みとなり ますが他の交付金はおおむ

円(103.3%)と2年連続のし、前年度比1億6356万格教育施設整備基金を取り崩保健休養地管理事業基金、義

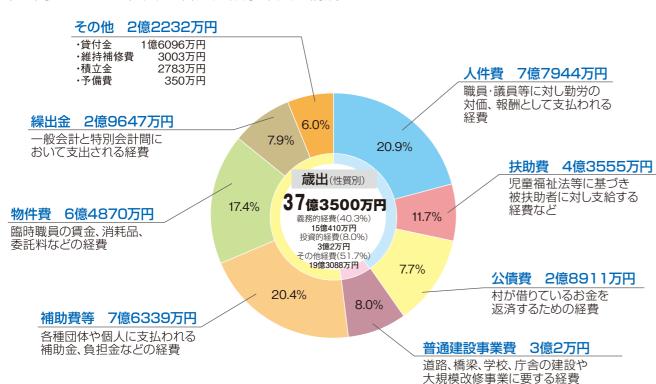
村賃の緊急経済対策にともない県営事業等を平成れ 策債も2000万円 年度に前倒ししたことにより 320万円の減額、 F度比39: 臨時

5 広報はら 2013 04

HARA

地方公共団体の経費を性質別に分類するもので、 義務的経費、投資的経費、その他の経費に区分できます。 義務的経費は、人件費、扶助費、公債費で、支出が義 務づけられている経費です。

投資的経費は、道路や公共施設の建設といった行政水 準の向上にかかる経費で、普通建設事業費で構成されます。



下水道特別会計補助金 合交付金による道路改 会で付金による道路改 会で付金による道路改 会では、社会資本 万円 2の新規増、河川

た。 3 9.4万 刀円で前年度比3㎝買は、4億2791

8

9

%)の増となりまし 円の増、河川、村単道路改良工事会資本整備総 6

た。万円 債 の増、 円 2.8 償 償還 費 <u>%</u>の は、

円の減です %)の増となりまれ円で前年度比7 還利子が 3 ま 9

泉ポンプ入替え7日置事業2600万円 00万円が新り皆減、起業チャ 6 9 主な要因は、 万円 の増です 9.9万費 だ新規増、 費 万円で前 %)の減となりまし 修等 、太陽光。 750万円の皆減、温 ンジ補助金 年度比3 、樅の木荘・ 事28 ル

> 修Ⅲ期工事実施設計費250 修Ⅲ期工事実施設計費250 万円の増、学童クラブ臨時職員 783万円の増、小中学校維持 等工事854万円の減、中学校 食器食缶洗浄機購入費492 食器食缶洗浄機購入費492 教 万 円 5.3

育 5.%)の増となり円で前年度比ら 費は、 億 7 - 度比20 り 6 まし 5 4

5万円の増などです。の増、消防団員退職報 地域防災計画作成897(消防署費)1139万円の 立な要 円 21 消防団員退職報奨金 因 は 諏訪 \mathcal{O} 6 増

前倒しされため負担金が25県営事業が平成24年度補正に議会補助金1840万円の泥

- 5 万円の河間倒しされ

()

が新規増です

は、

· 2 億 8

8

9

2

万円の

減

青年

-就農給付金(担金が25

9 万 16%)の頃で前年度 の増となりに見る 870円

広域連合 É 9万

りました。

万円

18

6

0 業

万 費

は、

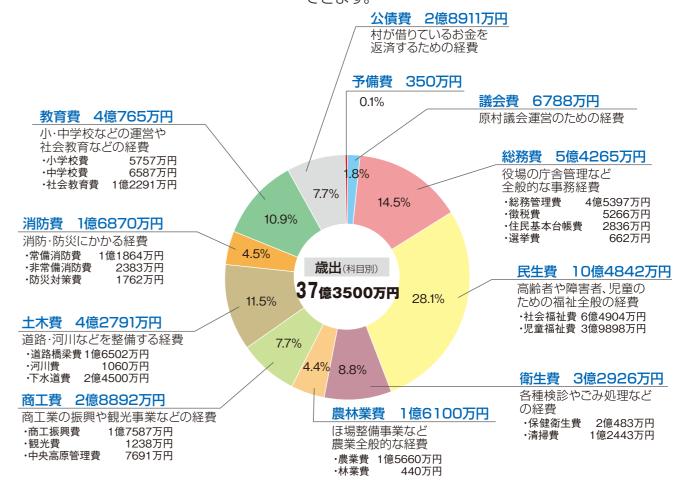
7円で前

1億610 1億610

主な要因は、

鳥獸被害対

地方公共団体が行う事業を目的別に分類するもので、 行政サービスの水準や行政上の特色などを知ることが できます。



より1427 11 年度に前倒しされたことなどこ 段事業は県営農道事業等が24 と68万円(4%)減、普通建 より1427 11 担金680万円の減などです。訪南行政事務組合(ごみ処理)自防接種事業255万円の増、販負担金750万円が新規増、予負担金750万円が新規増、予

の派遣を受けるため

予め

負諏

東定調査(105万円)、保育所 (3376万円)、富士見高原病 (3376万円)、富士見高原病 院整備事業補助金(2000万 円)などの新規事業を実施しま す。

物件

策定調査(105万円)、保育所7か所・63万円)、「健康としあ7か所・63万円)、「健康としあわせを誇れる村づくり」として、おせを誇れる村づくり」として、りか所・63万円)、「健康としあり、所火貯水槽設置工事(514万円)、保育所 星携帯電話導入(36 デジタル簡易無線機・ 普及促進事業(1 木質 イオマスス -購入補助 村 1万円)、 02万 た。 万 万

円

1.1

1.1 円で前に 10

別増となり 別年度比1.

5

ŧ 1

4

万

0 6 衛 主な要 左上費 %)の増となりまし 諏訪 -央病院 9 6

1211万円の増 悪味験負担金66 悪保険負担金66 などです。 などです。 主な要因 は 賃金4-の増、 老 5万円 6 4万円の増 4 (医療給付: 万 万 万 の増、 、保育 0

主な要因は、森林整備加速上な要因は、森林整備加速上でででででででででいる。 一旦選挙550万円の域、参議院議 一旦選挙550万円の増、電気自 は金446万円の減、参議院議 でででできる。 一旦選挙550万円の増、電気自 は、森林整備加速 人費439万円が新規で、有線放送特別会計繰べ、有線放送特別会計繰べ、有線放送特別会計繰び、有線放送特別会計繰び、有線放送特別会計線が、有線放送特別会計線が、有線放送特別会計線が、有線放送特別会計線が、

50 万

切

25年度では、

万円(1 紀子費は、5億426 %)の減となりました。 5 5 5 万

二般会計

の状況

7 広報はら 2013 04

金額は1万円未満を四捨五入 しています。

は新規事業です。

な

人と自然を大切にした住みよい村づくり

) CHIM C/ C/I/ICO/CHES/OU	
○公共交通推進事業	1,702万円
○若者定住促進事業	1,000万円
●木質バイオマスストーブ普及事業	102万円
■電気自動車購入補助	50万円
●電気自動車購入1台	439万円
○太陽光発電システム設置補助	600万円
○諏訪南行政事務組合 (火葬場・ごみ処理) 負担金	5,626万円
○合併浄化槽·排水処理施設補助	2,502万円
○可燃ごみ・資源物収集運搬・選別保管処理	1,680万円
○南諏衛生施設組合負担金	5,524万円
○建設資材支給事業	541万円
○道路除雪事業	772万円
○村単道路改良事業	1,920万円
○高速バス停駐車場工事	200万円
○社会資本整備総合交付金事業(道路改良工事)	5,900万円
●河川台帳整備 (緊急雇用事業)	600万円
○交通安全対策	595万円
○下水道事業会計負担金·補助金	24,500万円
●消防団旗·分団票旗購入	116万円
●防火貯水槽設置工事(払沢)	514万円
●地域防災計画作成 (緊急雇用事業)	897万円
●AED設置(指定避難施設7か所)	63万円
●デジタル簡易無線機購入	343万円
●メール一斉配信システム導入	56万円
人と文化を育む村づくり	
●地域人権啓発活動活性化事業	49万円
○中学生海外ホームステイ事業	290万円
○小中学生遠距離通学補助	182万円
○児童生徒支援員·心の教室相談員他	602万円
○私立幼稚園通園·就園奨励·運営補助金	240万円
○中学校大規模改修Ⅱ期工事実施設計	250万円
○中学校改修工事(グランドフェンス・体育館通路)	364万円
	0.070

○地区館・分館施設整備補助(トイレ改修等)	125万円
●郷土の文化財第3集(原村のこて絵)発行	147万円
() 遺跡発掘調査費	1,423万円
○図書購入費	500万円
○阿久遺跡整備(伐採・手洗い設置)	410万円
社会体育館柔道場畳入替え	73万円

環境と共生した活力のある村づくり

現児と共生	上した沿力りのる例:	ノくり
○森林整備加速	速化·林業再生基金事業	388万円
○住宅リフォー	ム促進事業	300万円
○農作物安値対	対策・作期拡大事業等補助金	1,803万円
○新規就農後総	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	120万円
●青年就農給付		900万円
○農業再生協議 ○農業再生協議	会補助金 (経営所得安定対策)	270万円
○有害鳥獣被害 ○有害鳥獣被害	討策	273万円
○中山間地域直		3,955万円
○農地·水保全 ⁶	管理支払交付金	258万円
○県営農道保全	整備事業	1,175万円
○県営かんがい	排水事業	300万円
○土地改良施設	と 維持管理適正化事業	182万円
○農地流動化補	前助 (村単)	430万円
○森林造成事業	<u> </u>	200万円
○村産木材活用]支援事業	90万円
○勤労者生活資	登金預託金	1,000万円
○ 商工業者活性	上化事業補助金	130万円
○商工会事業運	営補助金	540万円
●起業チャレン	ジ補助金	100万円
○制度資金保証	E料補給金	1,000万円
○中小企業振興	資金利子補給金	700万円
○中小企業振興	資金預託金	15,000万円
○八ヶ岳観光圏	・八ヶ岳周遊バス負担金	190万円
○原村観光連盟]支援事業	364万円
○藤尾根の小径	Z整備事業	347万円
●樅の木ゲート	ボール場補修工事	158万円
()震災雇用対応	事業 (緊急雇用事業)	500万円
○自然文化園眺	望確保事業	297万円
○自然文化園施	設維持工事(科学館、親水広場他) 434万円
○自然文化園備品	品購入 (芝刈機・レストラン用什器)	476万円

計画推進の方策

3,376万円

1,253万円

478万円

127万円

1,471万円

341万円

○諏訪広域連合負担金 (介護、消防、八ヶ岳寮他)	22,365万円
○村づくり推進事業	425万円
○各区交付金	627万円
○東日本大震災避難者受入れ	179万円

健康と幸せを誇れる福祉の村づくり

結婚活動推進事業

地域活動支援センター委託事業

○障害児学童クラブ負担金	132万円
○障害者総合支援法関係扶助	10,515万円
○地域福祉推進事業	608万円
○医療費特別給付	14,000万円
○国保特別会計繰出金	8,788万円
○高齢者等生活支援 (福祉輸送サービス) (福祉輸送サービス) (福祉輸送サービス) (高齢者等生活支援 (福祉輸送サービス) (高齢者等生活支援 (福祉輸送サービス) (高齢者等生活支援 (福祉輸送サービス) (高齢者等生活支援 (高祉輸送サービス) (高祉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	^{ス.} 1,519万円
○老人施設入所措置費	1,102万円
○敬老会事業	345万円
○運動機能向上等 一次·二次予防事	業 633万円
○地域包括支援センター委託	295万円
○配食サービス事業(高齢者)	538万円
○後期高齢者医療広域連合負担金	€ 6,809万円
○後期高齢者医療特別会計繰出金	全 2,038万円
○保育所広域入所委託料	456万円
子ども・子育て支援事業計画策定	周査 105万円
○子育て支援特別事業	4,037万円
○障害児通所支援事業	350万円
●未熟児養育医療事業	77万円
○児童手当	14,706万円
●保育所給食棟実施設計委託	450万円
○通園補助	106万円
() 諏訪中央病院組合負担金	5,415万円
●富士見高原病院整備事業補助金	2,000万円
○人間ドック・各種検診等補助	903万円
一予防接種事業 (インフルエンザ・ 子宮頸がん等)	2,240万円
○妊婦·乳幼児検診事業	852万円

業費に1743万円を計上し付金に6682万円、特定健等に、特定保健指導等や保健予防業拠出金9911万円、介護納業拠出金9911万円、介護納

民健康保険

事業勘定特

会計

•

設勘定特別会計 当初予算総額は、前年度に対 1480万円(4.5%)減の 8720万円となりました。 歳入は、幅広い年齢層と生活 関慣病等の安定した診療報酬 があり、診療収入は前年度とほがあり、診療収入は前年度とほび同じ7482万円(3.%増)となりました。 国民健康保険直営診療施

保存業務委託費として166円の減額、これまでの映像資産し、取材・編集業務がなくなるし、取材・編集業務がなくなるをにより、人件費が644万年かンネル動画映像放送が終了

9 6 8 万円 1

万円とし、後期高齢者支援円(10・3%)増の6億70円は、保険給付費を624

設基金積立1000万円を計賃金を増額し、国保直営診療施の増設費用・医療事務のための歳出は、総務費に電子カルテ

86万円

636万円

上しました。医業費には、心電図モニター接続パソコンや電動図モニター接続パソコンや電動図もころ診療を行い医療の充実をによる診療を行い医療の充実を図ります。

■有線放送事業特別会計

当初予算総額は、前年度に対し430万円となりました。 320万円となりました。 歳入は、一般会計繰入金が4 6万円、農協施設維持負担金は前年同額の500万円となります。

■後期高齢者医療特別会計

当初予算総額は、前年度に対 りの万円となりました。 の万円となりました。 です。後期高齢者医療制度の円です。後期高齢者医療制度の です。後期高齢者医療制度の です。後期高齢者医療制度の です。後期高齢者医療制度の です。後期高齢者医療制度の です。後期高齢者医療制度の に、保険料4731万 です。後期高齢者医療制度の

当初予算総額は、前年度と同当初予算総額は、前年度と同りた。 に計上しました。 管費として236万円を新た 負費として236万円を新た のご事請 でATV文字 に計上しました。 ■農業者労働災害共済事業

■下水道事業会計万円を実施します。

予算総額は、収益的収入は対 前年度1061万円(2%)減 の3億5425万円(0.5%)減 の3億5425万円(0.5%)減 の3億5425万円(0.5%)減 の3億5425万円(0.5%)減 の3億5425万円(0.5%)減 億5726万円(1.26.8%)増の 771万円(126.8%)増の 2631万円(126.8%)増の 2631万円となりました。 主な歳出は、流域下水道建設 負担金580万円、企業債元金 億還金1億9798万円、企業 債還金1億9798万円、水 道事業会計への長期借入元利 億還金2515万円となってい ます。

います。
て保険料等負担金を納付

小学校管理棟改修工事

●剣道用具購入

学童クラブ運営

放課後子ども事業

)小学校改修工事(扇風機設置·図書館他)

)ALT派遣事業·英語学習支援員

信州大学では、学生と一緒

信州大学市民開放授業

₩ 緑の募金にご協力を

お知らせ

ください。

-7922 (直通)

☎79-7922 (直 間総務課村づくり係

79-4920

4922 (直通)

倉阪

リットがあるのか、環境問の導入にはどのようなメり、またこれらのエネルギーにはどんな種類・特色があ **講師**●千葉大学大学院 場所●中央公民館 講賞 水力、地熱 題も含めた講演です。 力、地熱、バイオマス等)ネルギー(太陽光、風力、 文社会科研究科



5

 \mathcal{O}

INFORMATION

15 16 17 18 19 20

7 8 9 10 11

土曜日、日曜日、祝日

土曜日、日曜日、祝日

土曜日、日曜日、祝日

火曜日、5/1、4、6

21 22 23 24 25 26 **27**

施設のおやすみ

■原村診療所[☎79-2716]

■地域福祉センター[☎79-7092]

■中央公民館[☎79-7940]

土曜日、日曜日、祝日(施設利用は可)

■社会体育館 [☎79-4922]

月曜日、祝日、4/26、30

■八ヶ岳美術館[☎74-2701]

■八ヶ岳自然文化園[☎74-2681] 火曜日、5/8 ※4/30は開館

■図書館[☎70-1500]

■役場[☎79-2111]

5月

はないで、これでは、 はされています。再生可能 民を主体に行うことが重要 とが重要 地域の特性を生かした新

場所



問黒部ルー 076

·卜見学公募委員会事務局 42-8263

☎0263-37-20間信州大学総合窓口

2870

スポ ツ吹矢教室

·卜見学会

矢教室」を開催しています。では、毎月1回「スポーツ吹原村スポーツ推進委員会 要ありません。まずは、体験 後7時30分 申込みや持ち物は、必 日木 午後9時

募集締切●10月2日丞をご覧ください。 ルートの水力発電事業を、多使用されています。この黒部電施設の保守、工事用として黒部渓谷は、関西電力の発 置してあるパンフレット※詳しくは、役場ロビー 上で、乗り物の昇降や階段の募集対象者●小学5年生以 歩行に支障のない方。 め、見学会を開催します。 くの方に理解していただくた ー、にジま設

> **受講料**●前期開講科目 ※一部異なる授業もありま 育機構及び各学部 **開講場所**●信州大学 **開講期間●** 含む)に開放しています の授業を一般市民(高校生をに受講する機会として、大学 4月~平成26年 授業科目) 全学教

案内を配布しています ※詳しくは、信州大学のホ ムページをご覧ください 信州大学の窓口でも募集

> いっしいが、の植樹など緑化推進に役立等への緑化木配布、村有林へ てられます ₹79 - 7932 問農林商工観光課農村整備係

対象に、就学支援金が国から校高等課程に進学した方を 私立高等学校及び専修学

従い所定の期日までに行って進学先の学校からの案内に受給手続き等については、支給されます。 高等学校等就学支援金 信州大学ホームページ http://www.shinshu-u.ac.jp/general/extension-courses/guidance/

協力ください。5月2日困ま然を育むために緑の募金へご でに、区長・常会長を通じて 守への緑化木配布、H 集まったお金は、小 小中学校

■もみの湯[☎74-2911] 4/17,5/15

> 富山県ホームページ http://www.pref.toyama.jp/

『八ヶ岳観光圏』をご存じですか

~1,000mの天空リゾート 八ヶ岳~"澄み切った自分にかえる場所"の創出へ 日本の顔となるブランド観光圏を目指しています。

『八ヶ岳観光圏』をご存じですか

「観光圏」とは、自然、歴史、文化等において密接な関係のある観光地を一体とした区域であり、その観 光地同士が連携して2泊3日以上の滞在に対応できるよう、観光地の魅力を高めようとする区域を指します。 原村は、富士見町・山梨県北杜市とともに3市町村で平成22年度に「八ヶ岳観光圏」として観光庁から認 定されました。これからの観光地域づくりは「住んでよし、訪れてよし」の観光の基本理念に立ち返り「自らの 也域を愛し、誇りをもって暮らしているならば、おのずと誰しもが訪れたくなる」そのためには、観光関係者と **也域住民が一体となって通過型の観光から、滯在時間を増やす観光に転換していかなければいけません。** 「訪れてよし」の基盤となる「住んでよし」を実現するための取組みとして住民の皆さんが主役となる新たな 観光を目指していきます。

【八ヶ岳観光圏の活動状況】

事 業 名	称	内容
八ヶ岳宿泊滞在案内人の育成		滞在中の過ごし方や通常のガイドブックでは知り得ない八ヶ岳地域ならではの様々な生活情報を提供する「八ヶ岳宿泊滞在案内人」を育成するための講習会を開催します。
観光イベントの共同PR		既存の観光イベントを効果的に連携させて、「冠 八ヶ岳イベント」として共同でPRします。
新規共同イベントの開発・開催		特に宿泊 (連泊滞在) につながる朝夕や、オフシーズンの賑わい創出のため、共同して開催可能なイベントを開発します。
鉢巻周遊リゾートバスの運行		JR利用者の主要なターミナル拠点となる小淵沢駅から富士見町、原村への周遊バス「ハッピー号」を運行し、利便性向上を図ります。
八ヶ岳観光圏ホームページ		収集した情報を「八ヶ岳観光圏ホームページ」を通じて発信します。また、圏内の各市町村及び関係機関のサイト等からこのサイトにスムーズに誘導されるようなリンク関係を構築します。
八ヶ岳総合観光 パンフレット・マップの作成		圏内の主要な観光資源、観光施設、交通機関、観光案内所・道の駅などの情報と地図を掲載し、観光圏の魅力を総合的に伝えるパンフレット・マップを作成します。(八ヶ岳 wing 他)
3ヶ国語 (英韓中) 観光 パンフレット・マップの作成		エリア毎の来訪者の特徴を考慮して3ヶ国語 (英語・韓国語・中国語) の 観光パンフレット・マップを作成します。
八ヶ岳誘客PRの実施		主要なマーケットである首都圏や中京圏をはじめとして、戦略的に関西圏等、また外国人客の誘客に向けたPRを行います。
リピーター化促進策の実施		最大マーケットの首都圏からも近く、自然にも恵まれ、歴史・文化、芸術面でも秀でた様々な魅力を有する八ヶ岳観光圏に、年間に何度も来訪していただくためのリピーター化促進策を実施します。
顧客満足度調査の実施		従来の定量的な目標の達成ばかりではなく、来訪客は何が満足だった のか、また何が不満だったのか等を把握し、課題の改善に資するため実 施します。
プラットホーム (※) 強化事業 ※地域と来訪者をつなぐワンストップ窓口の機 担う事業体	機能を	観光地域づくりの基本となるコンセプト、ターゲットとすべき顧客層を明確化し、これに基づく個性ある魅力的な地域づくり、顧客への浸透、地域の魅力の維持・向上を図るための仕組みを構築します。
中核人材育成事業 (観光地域づくりマネージャー)		八ヶ岳観光圏のプラットフォームの形成を担う中核人材 (観光地域づく りマネージャー) を育成するために講師を招き、八ヶ岳観光圏のブランド 構築について議論を行う場や講習の場を設定します。

次回の「広報はら5月号」では、八ヶ岳観光圏で実施したイベントや八ヶ岳周遊バスなどについてお知らせします!

農林商工観光課商工観光係 電話79-7929(直通)

☎026 - 235 - 7058 圓県庁情報公開·私学課